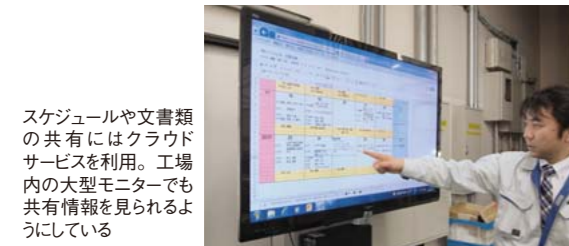
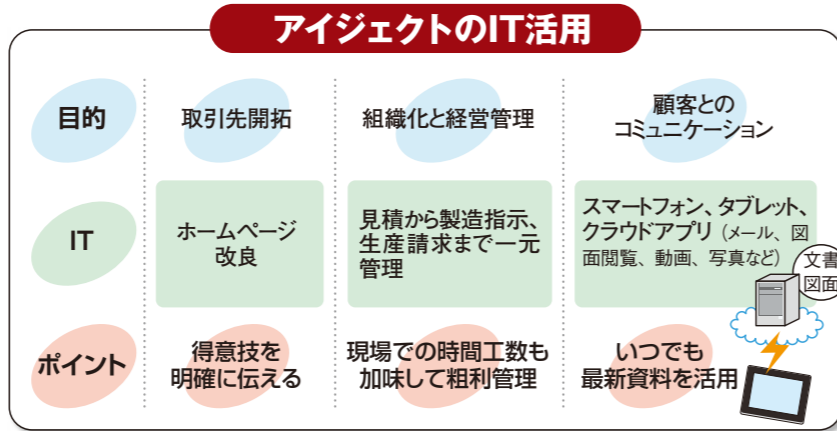




ハンディターミナルで製造工数をデータ化。製品ごとの粗利管理に活かしている



スケジュールや文書類の共有にはクラウドサービスを利用。工場内の大型モニターでも共有情報を見られるようにしている



代表取締役 戸口儀隆氏

会社概要

株式会社アイジェクト

埼玉県日高市駒寺野新田251-14

- 設立：1999年 (創業：1970年)
- 従業員数：12名
- 事業内容：パッキングプレート、医療機器部品、電子顕微鏡部品、理化学機器、治具 (設計、製作) など
- URL：http://www.i-ject.com/



製品例と製造風景。銅とアルミの加工を得意とする

埼玉県日高市・精密機器加工業 ● アイジェクト

レベルの高い仕組みで取引先からの信頼を 専門家のリレー支援で思いを形に

家族経営の「三ちゃん工業」から会社組織へ、そして、下請け構造から自立化型ビジネスへ——父の工場を引き継ぎつつも「創業者」として会社を育ててきたのが、アイジェクト (埼玉県日高市) の戸口儀隆社長である。銅、アルミなどの精密部品加工を得意とし、多品種少量生産型ビジネスを展開する。

戸口社長がまず取り組んだのは、1社に依存せず取引先を開拓し仕事量を増やすこと。「まだ若かったこともあって営業に行っても相手にされず悔しい思いもしましたが、大手電機メーカー研究所との取引開始をきっかけに技術の幅を広げることができました」と振り返る。

現在は医療機器なども得意分野としている。

経営者としての知識を得て ITの必要性を実感

1999年に会社組織とし、現在の日高市に新工場を設立。従業員も採用した。「でも予想通りにはいきませんでした。経営の知識を身につけたいまま経営者になりましたから」と戸口社長。課題に直面することに勉強し、また、セミナーや研修会に足を運んでマネジメントの考え方を学んだ。

- 同時に、組織化を進めるにあたりIT活用の必要性も実感した。ポイントは3つ。
- ① 自社の得意分野をPRできるホームページを持ちたい (営業体制を整えたい)
 - ② 受注ごとの粗利管理ができるようにしたい (どんぶり勘定を脱したい)
 - ③ エクセルで行っている製造指示や工程管理をシステム化したい (従業員の増加に伴い情報共有の仕組みや組織体制を整えたい) それぞれ、取り組みは行っていない

「最新のITの情報を聞き、自社のIT化が遅れていることを自覚いただき、いろいろなアドバイスを受けました」(戸口社長)

知り合いの経営者に悩みを話したところ、2007年に経済産業省が行った経営者研修会への参加を勧められた。足を運んだ補講研修会で埼玉のITコーディネータ (ITC) 組織のメンバーと出会ったことで、流れが変わり始めた。



「レベルの高い仕事をするには、取引先から相応の仕組み構築を求められます。10人の会社ではあります、20人規模の水準を目指しているのです」

システムの内容は、規模比例ではなく、求める経営の質で決めるということだ。

新システムの構築にあたっては、ITC戸村修氏がITベンダーからの提案内容検討や導入へのサポートを行った。それまでアドバイスを受けてきた宮村氏が病に伏し、「一番信頼している後輩だから」と

時間工数による 正確な原価把握を実現

工場ではハンディターミナルで工程の開始・終了を読み取り、時間工数による正確な原価把握もできるようにした。また、複合機のスキャナーを使って図面をデジタル化し、受注と図面の紐付けも行った。「顧客ごと商品ごとの粗利管理が実現し、経営判断に活用できるようにになりました。納品書などをカスタマイズできるのも助かりま

「中小企業IT経営力大賞2013」表彰式風景 (写真左が戸口社長)



「顧客ごと商品ごとの粗利管理が実現し、経営判断に活用できるようにになりました。納品書などをカスタマイズできるのも助かりま

そのほかにも、どこにいても顧客からのメールや図面情報が把握できるように、スマートフォン (アンドロイド端末「Xperia」) を持ち歩くほか、最近ではiPadも併用し、クラウド上の文書共有ソフトを使ってプレゼン資料や画像・動画を必要に応じて顧客に提示できるようにしている。

質の高い経営の実現にITが適材適所で活用されているのだ。

サポーター紹介



ITコーディネータ
NPO法人 埼玉ITコーディネータ 理事
有限会社 コンシェルジュ 代表取締役 戸村修氏
http://conc.biz/

アイジェクトへは埼玉ITコーディネータの複数のメンバーが長年にわたり得意分野を生かして支援や交流を行ってきた。専門家のリレー支援が形になったといえる。

戸村氏は、ITC宮村氏の後任として生産の一元管理システム導入を支援。日高市商工会を通じて中小企業支援ネットワーク強化事業の専門家派遣制度を使い妥当性のアドバイスをを行った。生産管理システムはデータの移行等に多くの労力を必要とするが、4つのステップを経て無事導入を完了させることができた。

戸村氏は「地域のITコーディネータで5年間ご支援してきたことが形になりました。私が担当したのはその一部分です」と謙虚だが、戸口社長は「折に触れ戸村さんにレクチャーいただいたことが大変役立っています」と話している。

今回の「中小企業IT経営力大賞2013」への応募支援も、戸村氏がサポートした。